



Tokyo Gakugei University Repository

東京学芸大学リポジトリ

<http://ir.u-gakugei.ac.jp/>

Title	小泉武栄先生のご退職にあたって（小泉武栄先生を送る）（fulltext）
Author(s)	上野,和彦
Citation	学芸地理(67): 20-20
Issue Date	2013-03-01
URL	<a href="http://hdl.handle.net/2309/134151">http://hdl.handle.net/2309/134151</a>
Publisher	東京学芸大学地理学会
Rights	

## 小泉武栄先生のご退職にあたって

上野 和彦\*

小泉武栄先生は2013年3月をもって東京学芸大学を退職されることになりました。先生は1978年4月に東京学芸大学地理学研究室助手として着任され、以来35年の長きにわたって奉職されたこととなります。本当に長い間、ご苦労様でした。

思えば小泉先生との付き合いは、先生が東京学芸大学乙類社会科に入学以来（その時、私は学部3年）ですから、これまた長い時間「学芸地理という空間」を共有してきたこととなります。先生のご専門は自然地理学ですが、その研究業績は本誌の経歴等にゆずるとしていくつか思い出を記し、送る言葉といたします。

### 小泉先生の学習方法と不思議な世界から学ぶ

小泉研究室は本の山です。それを眺めると先生がご専門の地形や植生のみならず、哲学・文学・・・などのきわめて幅広い分野の教養書、専門書が詰め込まれ、その読書量は並大抵のものでないことがわかります。先生の著作は学問的な専門雑誌論文のみならず、平易な文章で誰もが理解できるような教養書をたくさんありますが、これも読書量を背景とした深い教養のなせる業です。彼は私との雑談の中で「たくさん食べれば、でるものはでる。それが自然の法則だ」とよく言っています（解説：たくさん本を読んで、たくさん調査すれば、論文や本の執筆は必然的に多くなる）。

### 小泉先生は現場の人です

彼は学生時代から論文や本を読むと、それを抱えて実際のフィールドに行き、書いてあることを確認し、そのなから課題を発見し、さらに新しい研究テーマを構想するという、まさに「フィールド」で実証することを徹底しています。それ故、彼の行動範囲は日本列島から、極寒のツンドラから灼熱の砂漠に及ぶ。驚くべき行動力であり、現場主義です。

### 小泉先生の教育力

彼が主宰する自然地理学ゼミは長い歴史を持ち、その教え子たちの活躍もめざましい。ゼミのメンバーは地理の卒業生だけでなく、環境教育や一般の社会人もいる。それは異質なものを自然に受け入れ、多様なものを多様に受け入れる彼の度量の大きさがある。小泉地理学は誰もまねできない独特のものであり世界（ワールド）」であり、それを信奉する人々がいつも集まる不思議の世界（ワールド）である。

小泉先生は定年退職を迎えましたが、これからも不思議の世界（ワールド）が続くことでしょう。「種をまき、それが成熟すると収穫する」。これが彼の教育と研究だったと思います。東京学芸大学地理学会を代表して退職のお祝いを差し上げます。小泉先生におかれましてもご健康でお過ごし下さい。

---

\* 東京学芸大学地理学会 会長